

令和元年度

高階西小学校だより



学校教育目標 「力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ」 令和元年6月3日 6月号
目指す学校像 ～保護者・地域から信頼される 明るく笑顔あふれる学校～



運動会へのご協力ありがとうございました

校長 鈴木 友子

先日の運動会には、ご多用の中、多くのご来賓の皆様、保護者・地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。今回の運動会にあたっては練習の時から気温が高く、保護者の皆様にもたくさんのご心配をおかけしたと思います。学校としても実施方法について前日まで苦慮いたしました。急なお願いにもかかわらず、テントをお貸しくださった自治会・高階西中学校をはじめ、運動会の運営を陰で支えてくださったPTA・後援会役員の皆様、片付けをお手伝いくださった保護者の皆様、さらには、実施時間の変更等にご理解ご協力をいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

子供たちは、運動会を通して友達と協力することの大切さやあきらめずに努力することの大切さなど多くのことを学んだことと思います。猛暑にもかかわらず、練習の成果を十分に発揮し、最後まで全力で競技・演技・応援していた姿に、改めて本校児童の素晴らしさを感じました。

<6年生の感想から(一部抜粋)>

組体操の倒立、サボテン、タワーの練習をがんばりました。練習ではうまくいかず不安な時もありましたが、本番では成功させることができ、保護者の人達や1～4年生から大きな拍手をもらうことができたので、うれしかったです。勝ったら一緒に喜んだり、負けたら励ましの言葉をかけ合ったりとみんなで共感合えて、低・中学年の時には気づかなかった楽しさを知ることができました。



友達言葉 と 丁寧な言葉(敬語)

お話朝会で、「丁寧なことば(敬語)のつかい方」と「終わりまでしっかり言うこと」についての話をしました。例えば、「先生、はさみ貸して」ではなく「先生、はさみを貸してください。」のように。

大人と話をする時に、友達と話すような言葉しかつかえない子がいますが、その反面「スクールガードさん、いつもありがとうございます。」としっかり言える子もいます。学校でも、言葉のつかい方について発達段階に応じた指導をしています。ご家庭でもお子さんが間違った言葉づかいをしていたら、「それは友達言葉でしょ。」と気づかせてあげてください。

以前、ある中学校の先生に「中学校1年生が『ねえねえ、先生』と話しかけてくるので驚いた。小学校では、敬語を教えないのですか。」と質問されたことがあります。また、「上司や顧客に敬語をつかえない新入社員」の話も聞いたことがあります。友達言葉には、親しみがわくよさがありますが、時と場合によって使い分けができるようにしたいものです。

<5年生の感想から(一部抜粋)>

校長先生は、「ふわふわ言葉を使って、この学校を『明るく笑顔あふれる学校』にして、特に高学年は、みんなのお手本になるようにしてください。」と書いていました。だから私は、「ふわふわ言葉」や大人・先生への言葉づかいに気をつけて低・中学年のお手本になろうと思いました。敬語と友達言葉の区別をつけたいです。

先日は、神奈川県川崎市で悲惨な事件が発生しました。学校では引き続き安全管理に留意して参りますが、教職員の力だけでは限界があるのも事実です。子供たちの安全の為、登下校時の見守り活動にご協力いただければ幸いです。また、来校時には、必ず名札の着用をお願いします。